



さいこうクラブ制作

青 於

青取之於藍 而青於藍

- ㊦最後まで がんばる子
- ㊧いろいろな方法を考えて 勉強する子
- ㊨こころやさしく たすけあう子
- ㊩うどん大好き きたえる子
- ㊪のぞみは高く 夢に向かって努力する子
- ㊫こころのこもったあいさつができる子

運動会お世話になりました

10月28日30日の二日間にわたり運動会を開催しました。保護者の皆様や多くの地域の皆様に来校し児童の頑張りを見ていただき、ありがとうございました。全児童による応援合戦では、一生懸命頑張る児童の姿に、たくさんの方からお褒めの言葉をいただきました。これからも児童の頑張る機会を大切にしていきたいと考えております。また、保護者の皆様には、準備や後片付け、当日の係のお手伝いなど御協力いただき、ありがとうございました。

11月6日(月) 11月朝会の話 テーマ：私のペースで しおりは進む

みなさん、今、何の週間か知っていますか？それは、11月3日の「文化の日」をはさんだ前後二週間と定められ、全国で行われています。正解は「読書週間」です。本校の図書室の入り口には、「読書スター」というコーナーがあります。50冊本を借りると「読書スター」として、名前が掲示されています。今年は、もうすでに20人の児童が読書スターになりました。中には、100冊を超えた読書スターもいます。それは、2年生の佐藤由衣乃さんと山谷颯亮さんです。

読書週間は、いつから始まったと思いますか？それは、昭和22年です。終戦の2年後の昭和22年、戦争の傷跡が至る所に残っている中、「読書の力によって、平和な国を作ろう」という決意のもと、読書週間はスタートしました。今年で77回目を迎えます。

それより前に、読書キャンペーンがありました。それは、関東大震災の翌年、1924年、100年前に始まったそうです。戦争で敗れた2年後、そして、関東大震災の翌年、人は生きることには精一杯で、本なんて読んでいない状態ではなかったことでしょう。しかし、そんなときでも、本の力は、人々を支え、希望や生き方などを与えました。

最近では、東日本大震災がありました。その時にも、生活物資の他に、多くの本が全国から送られました。その年の読書週間の標語は「信じよう 本の力」でした。何かつながるのを感じます。

今年の読書週間の標語は、「私のペースで しおりは進む」です。50冊読んだ人もいれば、100冊読んだ人もいます。それぞれが、自分のペースで読み続けましょう。「絵本を読んでいるところを見ると、絵本の1ページをじっくりとはじからはじめまで読んでいたり、前のページに戻って読み直したりする姿もあり、そのように自分のペースで進むことができるのが、本の良さですね。」と司書さんが話してくださいました。本当にそうだなあと感じます。

皆さんも図書室に通い、たくさん本と出会い、自分のペースで本を読めるといいなと思います。本は、必ず皆さんの希望や生き方を教えてくれるものになります。

獣医師として、長年ウサギの飼育の仕方について、児童に御指導をくださった様が、本校教育への御尽力が認められ、学校教育支援ボランティアとして県より表彰を受けました。おめでとうございます。



北陵高校 農業体験

学区内にある北陵高校に御協力をいただいて、サツマイモ掘りを実施してきました。児童は目を輝かせて取り組んでいました。帰りもうれしそうに、サツマイモを持ち帰る姿が見られました。



ゴミゼロ運動

11月13日に4・5・6年生が、地域をきれいにしようとゴミゼロ運動を実施しました。このような活動を通し、地域を愛する心やゴミを捨てない心を育てていきたいと思ひます。



大内西バレーボールクラブが、県大会において準優勝し、11月25日に開かれる関東大会に出場することになりました。応援をよろしくお願ひします。